

# 東恩納組 厚 会長



ひがしおんな・あつし 1956年生まれ、那覇市出身。94年に東恩納胃腸科内科を開業。2011年より前会長の意向で経営に携わり、15年東恩納組代表取締役会長に就任。

## 片手取引リタシン推進

―2016年を振り返って。

昨年度の当社の完成工事高は約43億8370万円（前年比48・4％増）、売上総利益は約4億3220万円（前年比111・7％増、売上総利益率が9・86％）と、過去最高益を計上することができました。その理由は、5％以上の粗利益が出

ない工事には一切向かわず、受注後は日々リアルタイムでの現場管理を目的とする当社独自のコンピュータやタブレットを活用した業務日報により徹底した原価管理を行い、原価低減化や工期短縮に努めた結果だと考えます。昨年は「東恩納胃腸科内科」を閉院し、当社の業務に専念する決意を固めるなど、私自身にとっても変化の年となり

ました。ただ、医療の仕組みで役立つシステムは積極的に採用しています。たとえば、チーム医療の現場で行われるカンファレンスを取り入れ、昨年7月より週2回、現場関係者を集めて、ICC（インテンシブ・コンストラクション・カンファレンス）集会的な建設の会議を開き、各現場の

締めにつながっていると思います。―「リタシン」については。受注事業は当社の大黒柱ですが、造っては壊す、いわゆるスクラップ&ビルドの建設業から脱皮し、既存の建物という大きな財産を生かすため、一昨年から始動したのが「リタシン」です。不動

問題の解決や失敗事例を共有しています。この会議では、発表者の揚げ足を取らず、叱責（しっせき）しないことを規則として、仕事を楽しみながら議論し学ぶことで、技術力と安全性を高め、よりよいチームマネジメントを実現できるようにしました。また、院長回診のように週2回は私自身が現場巡回していることも、現場の空気の引き

ならではのメリットを広く伝え、総合建築の技術力を生かしたリフォーム工事を通じて社会貢献したいと存じます。

―社員待遇改善にも取り組まれたそうですね。人こそが企業にとって一番の財産であると考えます。そこで「中小企業でありながら、大企業並みの福利厚生を！」をスローガンに、2年前より福利厚生の充実を図りました。産前産後の有給休暇は1年2カ月延長し、1年間の育児休暇も設定しました。また、高齢化社会に向けて介護のための最長6カ月間の有給休暇も設け、労災外の病休も最長2年間の有給休暇を保証し、社員が安心して働ける環境へと改善しました。

―2017年の抱負を。―「人を育て、人を残す」という当社の根幹を念頭に、人を守り、心地よく、美しい建築物を造り、人や社会に必要とされる企業であり続けたいと思います。

中古マンションや住宅の不動産購入であれば  
**東恩納組のリタシンで仲介手数料無料!**

**仲介手数料が無料となる場合**

「中古物件」などで、他の仲介業者が間に入っていない場合が該当します。

東恩納組のリタシンの場合



※当社規定により  
300万円以上の  
リフォーム工事を  
ご依頼の場合